

20歳の自分へ～タイムカプセルを校庭に～

3月15日、清里小学校で卒業式を前にした同小学校6年生16人が、思い出の品を取めたタイムカプセルを校庭に埋めました。

このタイムカプセルは、長洲有明ライオンズクラブ（木下紳会長）が町内4つの小学校に卒業の記念として贈っているものです。

タイムカプセルを埋めた、福田由蘭さんは「思い出の品と自分への手紙を入れました。20歳になって見るのが楽しみです」と笑顔で話しました。



タイムカプセルを埋める子どもたち

春の日差しの下で親睦を

第6回有明ソーラーパワーグラウンドゴルフ大会（株LIXIL、長洲町主催）が有明ソーラーパワーで開催されました。これは、環境普及啓発の一環として、有明ソーラーパワーのPRとグラウンドゴルフを通じて親睦を深めてほしいと毎年開催しているもので、当日は、約300人が参加。参加した選手は、暖かな春の日差しの下、芝生の上で和気あいあいと楽しんでプレーし、親睦を深めていました。



開会式に臨む参加者の皆さん



通常点検を披露した年長児の皆さん

スペシャルパーティ～六栄保育所～

六栄保育所では、2月27日に「誕生会・ひな祭り・年長児とお別れ会」の3つの行事を合わせたスペシャルパーティを開催しました。

今年で15回目となる今回は、年中児以下のクラスから年長児へ卒園のお祝いに歌や遊戯をプレゼント。また、年長児からは、出初式が雨のため参加できなかったこともあり、お返しに通常点検の披露をしました。

4月から新1年生となる年長児さんは、それぞれの学校でも頑張してほしいと思います。



福岡大学渡辺教授が成果について説明する様子

干潟再生を目指して～福岡大学 水産試験研究報告会～

3月17日、平成27年8月に締結した長洲町・熊本北部漁業協同組合・福岡大学との産学官連携の協定に基づき、福岡大学が研究を進めているフルボ酸鉄シリカ資材（水質浄化作用）を用いた実証試験・研究の成果の報告会が開催されました。

この報告会では、水産関係者および熊本県をはじめ、長崎県島原市・有明圏域定住自立圏などの行政関係者を対象に、福岡大学の渡辺教授から実証実験2年目にあたるあさりの生育状況や、ヘドロが減少していることなどの成果が報告されました。

長洲町でスタートさせたこの取り組みが、今後、有明海全体に広がることが期待されます。

卒園の思い出に！！

2月16日、社会福祉法人せるふねっと21長洲保育園では、牛崎晶子さんを講師に招いてお茶会が開催されました。

この日は、年長ふじ組の園児が参加し、日本古来のお茶の頂き方、挨拶などの作法を学びました。園児たちは、「おいしい！」など笑顔で話しました。当日は、「ながすせいわの里」の利用者の皆さんも来園され、園児の可愛いしぐさに目を細めながら楽しまれていました。



長洲保育園お茶会でお茶を飲む園児

子どもたちに努力することの大切さを！

2月21日、JFA（財団法人日本サッカー協会）が行う「夢の教室」が開催されました。

夢先生（ユメセン）には、野球クラブチーム茨城ゴールデンゴールズ監督兼選手で熊本市出身の片岡安祐美さんを迎え、子どもたちに自身が経験してきた様々な悩みやそれをどう努力して解決してきたかなどを話しました。

夢の教室に参加した生徒は「努力する事で夢は叶うんだということを教わりました」と目を輝かせて話していました。



夢先生の片岡安祐美さん（中央）とゲームを楽しむ生徒



真剣な表情で話を聞く参加者

薬の飲み方と食べ合わせを学ぶ

1月25日、下本区（湯村浩和区長）では、下本区集會場で、金魚薬局の薬剤師を招いて「服薬の仕方」の講話を行いました。

この日は、区民15人が参加し、講師から薬の知識、保管方法、服用時間、お薬手帳の活用方法、薬と食べ物の組み合わせで注意することなどの話がありました。

参加者からは、「病院の先生から薬と食べ物の飲み合わせについて聞いたけど、他の組み合わせも注意しないといけないんだね」などの声があり、服薬の仕方について学びました。



参加した区民の皆さん

区民と交流を深める

2月20日、新山区（島永邦生区長）では、買い物支援として熊本市などに出かけ、熊本城や城彩苑を見学し、植木のすいかの里などで買い物を楽しみました。

この日は、区民約30人が参加し、買い物だけでなくバスの中では歌などを歌い交流を深めていました。島永区長は、「あいにくの雨で、天候は良くなかったですが、区民が交流を深めることができたのでよかった。これからも区を盛り上げていきたい」と話しました。

食を通して国際交流

3月26日、長洲町国際交流友の会（徳田美津子会長）はすこやか館でクッキング交流会を開催しました。

これは、食を通じて世界各国の文化や伝統を感じてもらおうと毎年行っているものです。この日は子どもから大人まで18人がハワイアンメニューとしてロコモコなどに挑戦。

徳田会長は「世界にこんなにおいしいと思えるものがあることを知ってもらい、世界に身近に感じてもらえば嬉しい」と話しました。



ロコモコをつくっている様子

町内コンビニに AED を設置

町は町内コンビニエンスストア（セブンイレブンおよびファミリーマート）に応急救護体制の充実を図るため AED を配備しました。

これまで、町内の公共施設に配備し、誰もが使える体制に整えていましたが、公共施設が閉まっている時間帯には活用できないといった課題がありました。

そこで今回、町内のセブンイレブン（3店舗）およびファミリーマート（1店舗）の協力を得て、24時間体制で AED を活用することができるようになりました。



コンビニに設置された AED



利用者と愛好会で一緒に歌を歌う様子

入所者と一緒に歌を歌い盛り上がる !!

3月22日、長洲カラオケ愛好会が入所者を元気づけようと介護老人保健施設聖ルカ苑を慰問しました。

この日は、約40人の入所者が参加し、愛好会7人による歌を楽しみました。途中、職員の飛び入り参加もあり、入所者は手拍子をしたり一緒に歌うなどして大いに盛り上がりしました。会長の久山守さん（下本区）は、「これからも活動のひとつとしてやっていきたいです」と話されました。



音楽にあわせてダンスする長洲レクリエーションクラブの皆さん

音楽を通して長洲町を PR !!

3月27日、長洲町中央公民館でシンガーソングライター西野まもるさん（出町区）が「ながすのふれきんちゃん」の曲を作成したことを記念して発表会を行いました。

この日は、約30人のお客さんを前に、西野さんの歌声にあわせて、長洲レクリエーションダンスクラブのダンスと町内小学生のコーラスを合わせて発表しました。

作詞・作曲した西野さんは「音楽を通して長洲町を PR していきたい。楽しんで歌ってもらいたい」と話していました。